

# みあさづくり



## 美麻地区民生児童委員協議会が全国表彰



この大会で美麻地区民生児童委員協議会が、全国民生委員児童委員連合会から、美麻村時代からの長期に渡る、地域住民への寄り添いや、地域福祉の担い手活動に対し、全国優良協議会として表彰されました。大会に出席した地区協議会 会長北沢孝一さんへ表彰状と記念品が手渡されました。現委員を始め、委員活動に携わった全ての皆様方に心から御礼を申し上げます。

全国民生委員児童委員大会が令和5年11月21、22日に広島県で開催されました。

(美麻支所 民生係)

長野県民生児童委員協議会連合会のホームページで、美麻地区の民生児童委員協議会活動が紹介されています。県民児協HP <https://www.nsyakyo.or.jp/minjiren> スマホやタブレット等でご覧いただけます。美麻支所内でも視聴が可能です。



謹賀新年

QRコードを読んでパソコンやスマホでもご覧ください。

ホームページ  
美麻Wiki

Check!

facebook



## 2024年の地域づくりに向けて

令和6年あけましておめでとうございます。  
令和5年は非常に暑い夏で雨も少なく農業には厳しい年になりました。しかし、3年ぶりにコロナ禍後はじめてのメンドシーノ交流事業は再開できました。皆様のご理解ご協力により、いくつもの事業を進めることができました。

美麻地区では、未だに市町村合併後の課題が数多くあり、それに加えて少子高齢化、交通弱者の足の確保、獣害、荒廃農地や林地、空き家の荒廃、公共施設などの老朽化や集落機能の維持など、数え上げるときりがありません。

そうした課題や問題は行政に陳情するだけでは解決できません。地域に住む一人ひとりが自分事として、やれることは自ら行い、でき

ないことは皆で助け合って進め、行政にも必要な要望や提案をしていく姿勢が、今まで以上に必要な時代がやって来ました。

近年、美麻地区は移住希望者に人気が高く、問い合わせも増えています。移住者が増えることは地域の活力にも直結します。そういう意味で、活用可能な空き家や土地の情報が必要となっています。地域の活力は、行政に任せておくだけでは維持できません。

ぜひ、地域の皆様から情報や提案をお寄せいただけるとありがたいです。

今後も住み続けられる美麻づくりのために皆様のご協力ご支援をよろしくお願いたします。

(美麻地域づくり会議 会長 前川浩一)

### 令和6年度地域づくり活動

### あなたのアイデア大募集！

美麻地域づくり会議では、美麻地区活性化に役立つ事業提案を募集します。

「地域のためにやってみたいこと」、「会員団体活動に支援、協力をして欲しいこと」がありましたら、ふるってご提案ください。

#### ○ 提案できる人

- ①美麻地域づくり会議の会員(団体、個人)
- ②地域づくり会議の活動に協賛者  
(自治会加入世帯の方)

・提案を期に地域づくり会議に加入したい方

#### ○ 募集する提案

美麻地区のためになる活動であれば分野は問いません。

#### ◎ 特に提案いただきたい分野

- ①移住、定住を促進させる提案
- ②空き家、土地の活用を促進させる提案
- ③地区外に住む人(以前、美麻に住んでいた人を含むお年寄りから若者まで)との交流を促進させる提案

#### ◆ 提案方法

①提案用紙(別紙)に記入して事務局に提出

②提案用紙の内容をメールで提出

③専用申し込み

フォームから入力 →

(※提案が複数あって用紙が足りない方は事務局に連絡ください。)

◆提案期限 令和6年1月31日(水)

#### ◆提案の結果報告

提案内容を審査し、令和6年度中に実施可能な事業から順次採用(予算の範囲内で実施)。結果は、令和6年4月中にお知らせします。



<お問合せ>

美麻地域づくり会議事務局 美麻支所総務係

Tel.29-2311 / Fax 29-2333

e-mail:miasa-soumu@city.omachi.nagano.jp



# ワークキャンプの受け入れが始まりました



括り罠の設置体験



かやぶき屋根葺き替え作業



伐採した木の片付け作業

地域の課題解決に向けた新たな取り組みとしてワークキャンプの受け入れを行いました。美麻地区では、「国際ボランティアNGOのNICE(注)」と連携して、全国各地から6名の参加者が集まり、11月3日からの3日間、①有害鳥獣駆除の括り罠の設置体験、②新行水車小屋のかやぶき屋根葺き替え作業、③空き家の片付けで伐採した木の片付け作業、④森林公園の整備などの活動を行いました。地域住民との交流会では参加者から「今回のプログラムは、罠の設置や薪割りなど初めて体験す

(注) NICEの詳細は、こちら <https://www.nice1.gr.jp/>

るワークもあり新鮮だった。」「少子高齢化が進む日本全国でニーズがある活動ではないか」などの意見が出されました。

美麻地区では、これからも交流人口の増加と新たな集落機能を維持する仕組みとして定期的に受け入れをしていく予定です。ボランティアを受け入れる条件は、支援を希望する地域の人達がボランティアと一緒に活動・交流することだけです。受入れに係る費用負担はありません。詳しくは、事務局までお問い合わせください。

最後に、全国各地より、美麻地

区の支援に来ていただいたボランティアの皆さんに、この場を借りて感謝申し上げます。ありがとうございました。



森林公園の整備作業

## 移住・交流応援住宅「なっちょ<sup>や</sup>家」がオープン

### 空き家活用 移住体験

大町美麻「なっちょ家」整備



最初の利用者入居開始

小さな拠点づくりの一環として、使われなくなっていた旧医師住宅の活用について、大町市から理解をいただき、美麻地区でニーズの多い、移住者の支援とワーキングホリデーなどで美麻を訪れる人達との交流を促進させることを目的に、シェアハウス「移住・交流応援住宅なっちょ家」として10月1日から活用を始めました。

大町市、特に美麻地区に移住を

希望する方が、腰を据えて住居探しをする間の仮住まいや、地域の皆さんとの交流を通じて、地域に馴染んでいただくために活用していきます。現在は、運用開始早々に申し込みがあり利用開始しています。

<お問合せ先>  
一般社団法人地域づくり美麻  
1syamiasa@gmail.com

(注) 「なっちょ」とは、長野県北部の方言で、〇〇の「様子はどうだい？」のように使われます。



## コミュニティ・スクールの話題

## 元気いっぱい！のりもの遠足

10月26日に、1年生、2年生ののりもの遠足が行われました。バスや電車を使って、あづみの公園を目指しました。おやつも200円の予算内に収まるように考えて自分で購入しました。秋晴れの空の下、たくさん動いた後に食べるお弁当は格別だったようです。切符の買い方やおやつ購入の計画など、事前の学習も生かし、充実した1日を過ごしました。

【こどもたちのふり返りから】

☆ きょう、わたしは、えんそくで あづみのこうえんで あそびました。おべんとうがおいしかったです。とつても いい いちにちでした。  
☆ きのお あづみのこうえんで おべんとうを たべ、ハンバーグと オムライスと ほしの



にんじんを たべました。おいしかったです。たべおわたたら 一年生と あそべて よかったです。(文責:太田美香)

## 東京見学『泊まりたかった』



11月2日の5年生・6年生による東京社会見学はどの子にとっても充実した時間になったと思います。ひとつ目は、子どもたちが見るもの聞くこと全てに関心を持っていたから。国会議事堂では、案内して頂いた国会議員さんに次から次へと質問をしていました。ふたつ目は、どの子も周りのことを考えて行動できたから。班行動では、リーダーの言うことを聞くのはもちろん、お互いに声を掛け合いながらはぐれないように、時間どおりに行動する姿がありました。

この社会見学では、時間が足りず満足に見られない場所もあったと思いますが、一人や家族とでは味わえない楽しさがあったはずです。友だちと共に行動する楽しさや大切さを学べた東京見学になったように思います。

『子どもの声』

○今日は、東京見学がありました。一番楽しかったのは、朝のバス、朝ご飯、お買い物です。一番驚いたのは、国会議事堂の中心に大町の絵があったことです。東京タワーは、ガイドさんの言い方が個性的でした。

○一番最初に国立科学博物館にいきました。日本館にあるシアター360を見ました。その他にもいろいろな展示を見て回りました。またじっくり見てみたいです。

○最後に東京タワーに行きました。とても高くてびっくりしました。ガラスの床がとても楽しかったです(怖かったけど)。下に降りてお土産を買いに行きました。計算が苦手だったから、めっちゃ難しかったです。でも楽しかったです。(文責:志水宏靖)





## コミュニティ・スクールの話題

## ～ 思い出を胸に ～



厳島(いつくしま)神社

10月29日から31日までの3日間、素晴らしい晴天に恵まれた最高の修学旅行となりました。広島では原爆ドームで爆発の激しさを感じ取り、資料館では想像を超えた資料の数々に言葉もなく見入っていました。百聞は一見に如かずの言葉通り、子どもた

ちの感想からも強く印象に残ったことがうかがえます。2日目の京都での班別行動は、計画した場所を全て回ることはできませんでしたが、京都市内を巡って思い出をたくさん作ってきた様子でした。3日目奈良では初めて見たという大仏が予想より大きかったという感想を聞きました。

3日間を通して、集団としての行動は節度を保ちとても安心できるものでした。私は13回目の修学旅行の引率でしたが、一番安心して引率することのできた旅行でした。

自分たちで行動し自分たちで見てきたことが共通の思い出となり、絆を深めた9年生。これから卒業へと向かっていきます。

(文責:高橋文男)

## ～ もっと仲良くなろう！ ～

人権旬間(※注)の一環として「なかよし集会」が行われました。「なかよし集会」は「全校でもっと仲良くなろう！」という目的で、6年生が2時間目の休み時間に全校児童生徒が体育館でおこなえる遊びを企画し運営しました。けいどろ、だるまさんがころんだ、ドッジボール、おひっこし、しっぽ取りを全校で行いました。1年生から9年生まで思いっきり体を動かしてとても楽しそうでした。5日間の「なかよし集会」を通して全校がより仲良くなりました！(文責:嶺村亜矢)



※注) みんなが笑顔で楽しい学校生活を送れるよう、友だちの良いところを見つけたり、言葉遣いや行動を振り返り、よりよい行動を実践していくこと。

## 親子で力を合わせたPTA作業

4年生以上の児童生徒と保護者、スクールパートナーズの皆様によるPTA作業が10月28日に行われました。今回は冬に向けての作業が多く、樹木の冬囲いやスキー庫の整備、落ち葉の片付け、高枝切などが行われ、学校花壇の片付けでは、小さい子が花束を作って遊びながら手伝うほほ笑ましい姿がありました。児童生徒は主に校舎内清掃を保護者と協力し行い、いつもは分担場所を1～2人で清掃しているのでどうしても行き届かない箇所がありますが、保護

者の力を借りて一生懸命に清掃に取り組み校舎を磨く姿に、保護者と協力して行うことの意義を感じる時間となりました。

今年は多くの作業に分かれて行ったため、作業内容がわかりづらかったとの反省があり、次年度への課題としたいと思います。たくさんの皆さんの力をお借りして、学校の環境が目に見えて良くなりました。ご協力本当にありがとうございました。

(文責:高橋文男)



## これまでの取り組みを堂々と発表 ～市民科まとめの会～



10月27日5・6時間目に市民科まとめの会がありました。7年生から9年生が、それぞれ『美麻のフルコース・7年生』『花MAME株式会社・8年生』『そばについて・8年生』『美麻の獣害・ジビエについて・9年生』をテーマに、美麻の魅力や、

美麻の課題に対して真摯に向き合い取り組んできたことを、他学年や地域の方々に向けて発表しました。ジェスチャーを交えたり、質問されたことを受けて次の発表内容を修正したりと、どうすればより相手に伝わるのかを意識した素晴らしい発表ばかりでした。また、質疑応答の場面では、地域の方からの鋭い質問に対し、堂々と答えたり、逆に質問したりする姿もあり、子ども達が熱意をもって主体的に取り組んできたことがよく伝わって来ました。6年生も聞く側の立場として参加しましたが、先輩たちの取り組みの内容や、発表のまとめ方、発信の仕方など、多くのことを学べた時間となりました。（文責：藤巻智哉）

## 山村留学 第48回 収穫祭を開催

11月11、12日の2日間にわたって第48回収穫祭を開催しました。ここ数年は感染症対策として、規模縮小としていましたが、今年度は山留センターを会場に、たくさんの方々をお招きできた収穫祭となりました。

1日目は感謝の式から始まり、センターで行ってきた田畑の作業を農事暦として発表し、センター前庭に祭壇を設け、作物をお供えし、無事収穫できたことの報告とともに、自然の神様に感謝の気持ちを捧げました。午後には、個々の興味関心に基づき取り組んできた、個人体験の発表を行いました。多くの学園生が知識や技術を地域の方から教わり、支えてもらい、個性豊かな体験発表をすることができました。



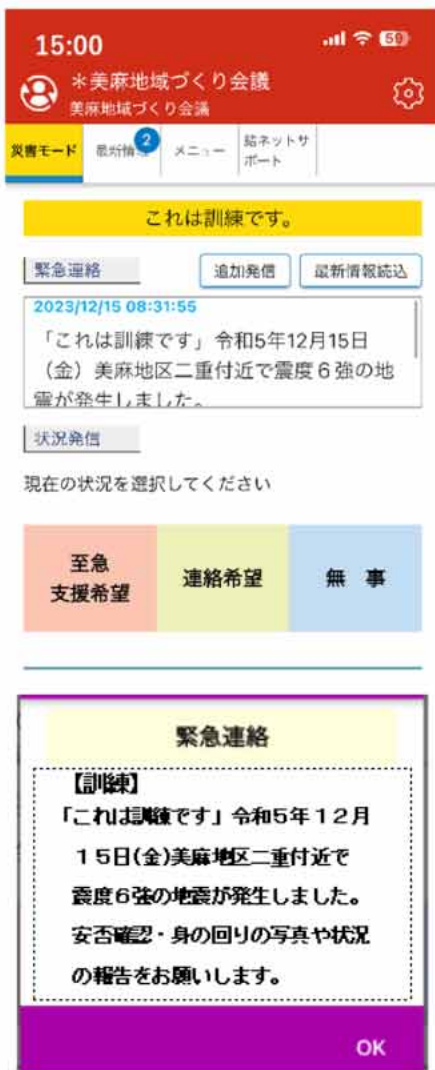
その後、全体発表として、太鼓や民舞も交えた創作劇を披露しました。多くの方々からお褒めの言葉をいただき、学園生たちの達成感にもつながったようでした。そして夜には保護者、農家さん方、大勢の山留OBも交えての会食会が開かれ、大変盛り上がりました。

2日目には保護者が主催となって模擬店を実施し、濃密な2日間となりました。改めて、多くの人に支えられて成り立つ山村留学だということを感じた収穫祭でした。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

（文責 赤坂隆宏）







## 地域で災害に備える！結ネットで安否確認

地域の人口減少に伴う自治会役員の負担軽減や、災害時の地域内での安否確認支援に期待が持てる、スマートフォンやパソコンを利用した「結ネットアプリ」を、現在美麻地域内で約100名の方に参加いただき運用試験を行っています。

運用試験には、二重自治会員や(一社)地域づくり美麻会員・美麻地域づくり会議会員の皆様に参加いただいております。

今回、初めて災害時の安否

確認等が行える「災害訓練モード」の運用試験を行いました。12月5日午後3時頃に災害が発生したことを想定し災害情報を発信し、40名から安否回答や現場状況写真等の返信回答をいただきました。

今後、参加者から意見を聴き課題を再考しながら、運用試験を重ね災害時支援に活用出来るアプリの構築に繋がっていきたいと考えます。

(美麻地域づくり会議・一般社団法人地域づくり美麻)

### 地域SNS「結ネット」実証実験の参加者も募集

地域SNS「結ネット」のシステムを構築するために、実証実験にご協力をいただける方を募集しています。参加をご希望の方は美麻地域づくり会議事務局までご連絡下さい。

<お問合せ> 美麻地域づくり会議事務局 美麻支所総務係  
Tel29-2311 / Fax 29-2333  
e-mail:miasa-soumu@city.omachi.nagano.jp

## 地域全体で効果的な有害鳥獣の追払い！

年々増加する有害鳥獣対策とし、追払い効果の高い煙火を使用するための資格継続と新規資格講習会を11月10日に美麻公民館講堂で実施しました。現在、美麻地区内31人の皆様が資格取得され、被害低減に向けた活動にご尽力いただいております。市販花火等より火薬が多い煙火の取扱いには、細心の注意が必要となり、参加者は、使用方法や安全対策、使用ミスによる事故等の説明を熱心に講習され、今後の追払い活動に備えていただきました。

また、3月に結成された「美麻地区有害侵略鳥獣追払い隊(13名)」による電動ガン等を活用した追払い活動も継続される中、12月5日に、隊の皆さんが支所講堂に集まり、今までの活動報告や今後の効果的な取り組みについ

て意見交換が行われました。

有害鳥獣の被害低減に向け、地域の皆さんが精力的に活動いただいていることへ感謝申し上げます。(美麻地域づくり会議事務局)





連載 美麻の口碑伝説  
～語り継ぐ郷土の心～

## 『長者の頭巾』 (大塩の話)

大塩の東にひときわ高い長者山がある。  
むかし、素姓もわからない若者が、掘立小屋を  
建てて、長者屋敷と呼び、後ろの山を長者山と名  
づけて「何にもないが、裏山は山の幸がいっぱい  
詰まった、おら家の蔵だ」と言つて暮らしておつ  
た。「この若者は、かぶると目に映る物は何とで  
も話ができる不思議な「頭巾」を持っていた。  
元旦には山の神にお詣りし、木々に向かつて、  
「おめでどうござんす。」と言つと、山の木々も  
「おめでどうござんす。」と答えた。  
「今年の陽気はどうか？作柄はどうか？」とき  
くと「今年の陽気は、初め普通で、中暖かく、後  
ろ寒くまた雪早し」と答えた。そこで若者は、秋  
口までに焼いた炭を町へ運んで9月末のどき雪  
に高値で売つて、たんともうけた。  
次の年は、「今年の陽気は、初め寒く、中寒く、  
後ろ暖かいが寒い夏。稲作三分、畑作三分」と答  
えた。そこで若者は安いコメをたくさん買いた  
め、高値で売つて、また、たんともうけた。  
また次の年の元旦にも山にきくと、「今年の陽  
気は、初め暖かく、中暑く、後ろ普通で水かれる。  
稲作畑作ともに五分五分」と答えた。そこで若者  
は日照りに強いカボチャをたくさん作つて豊作  
となり、またまた、たんともうけた。  
そうするうちに、田畑は増え屋敷や地蔵も大  
きくなり本当の長者様になったということだ。  
めでたし、めでたし。

金田國武民話の世界より

## ～ 赤い羽根共同募金のお礼 ～

美麻地区の皆さまには、日頃より赤い羽根共同募金へのご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。募金活動には自治会の皆様にもご協力をいただきました。募金箱は12月15日まで美麻地区内5か所(手打ちそば美郷・ぽかぽかランド美麻・美麻郵便局・美麻支所・美麻総合福祉センター梨嶺)に設置し今年度も皆さまのご協力により、只今265,000円の募金が集まりました。今年度の募金活用については、美

麻小中学校や美麻地区子ども会育成協議会への助成金、美麻地区小地域福祉ネットワークや美麻地区敬老会事業への補助金、美麻地区梨嶺体操教室事業の実施に活用しています。これからも子供からご高齢の皆さまにとってより良い地域となりますよう活用させていただきますので、引き続き皆さまのご協力をお願いします。  
(美麻地区赤い羽根共同募金委員会)

## 年末の交通安全運動実施中！

「信濃路は みんなの笑顔 つなぐ道」をスローガンに、  
12月15日(金)から12月31日(日)まで年末の交通安全運動を実施しています。

路面凍結による事故や、年末年始の飲酒の機会も増えます。交通安全を心がけましょう！

以下の4点を重点として交通安全運動を行っています。

- 夕暮れ時、夜間の歩行者事故の防止
- 自転車のヘルメット着用と交通ルールの遵守
- 高齢運転者の交通事故防止
- 飲酒運の根絶

毎月5日と20日は「交通安全の日」です。(大町地区交通安全協会美麻支部)



■ 編集・発行

美麻地域づくり会議

住所 大町市美麻11810-イ 電話29-2311 FAX29-2333 ・ 電子メール info@miasa.info